

頼山陽史跡資料館 企画展

挑戦者たち

現代刀の世界

脇差 銘 善博
拵 出鮫柄深線漆塗研出梅花皮鮫合口



令和元年

7月25日(木) ▶ 9月8日(日)

開館時間 | 午前9時30分～午後5時〔入館は午後4時30分まで〕
休館日 | 月曜日(ただし8月12日〔月・祝〕は開館)、8月13日(火)
入館料 | 一般 300円(240円)、高校生・大学生 220円(180円)
小・中学生 150円(120円) ※ ()は20名以上の団体料金

【展示解説会】

日時: 7月27日(土)・8月17日(土)・31日(土) いずれも午後1時30分～
解説: 当館職員・出品刀匠

【現代刀鑑定会】

日時: 8月17日(土) 午前10時～
会場: 頼山陽史跡資料館(予定) ※事前申込が必要です。

主催 / 頼山陽史跡資料館

協力 / 公益財団法人頼山陽記念文化財団 広島県刀職会



- JR広島駅から15分 ● 広電電車「紙屋町経由広島港線」袋町電停下車すぐ
- 広島バス「広島港線」袋町バス停下車すぐ ● アストラムライン本通駅下車3分

頼山陽史跡資料館

〒730-0036 広島市中区袋町5-15 TEL/FAX 082-298-5051
<https://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/raisanyou/>



戦後七十年、変わりゆく時代の中にあっても、

数多の刀匠たちが日本刀の優品を生み出してきました。

令和の時代に至っても、刀匠たちのたゆまぬ挑戦は続いています。

本展では、広島県の三上貞直刀匠・久保善博刀匠を始めとする

巨匠の作品、中国地方で活躍する若手刀匠とその作品を紹介し、

古刀にはない現代刀の魅力と匠の技に迫ります。

作り手の思いと技が結実した作品の数々を御覧ください。

太刀 銘 善博
(平成29年 高松宮記念賞受賞作)